

〈日本株〉

10月の展望

臨時国会、米中間選挙を控え神経質な動き

財政と金融政策の方向感を模索

9月の日銀会合で1.25%への政策金利引き上げが決定された。先行したECB、FRBと足並みをそろえた形だ。中東の原油供給減少が長引いて、エネルギー価格の上昇からインフレ懸念は根強く、金融政策への関心は追加利上げ時期、利上げペースに移っている。日米の協調介入後も円安に傾斜しがちな為替市場においても、政府・中銀の動向が警戒される。

9月の株式市場はAI半導体中心からAI開発ペースに関する議論や、利上げ観測や財政不安を背景とした長期金利上昇もあり、方向感に乏しい動きとなった。10月の株式市場は神経質な動きが続くとみられる。

臨時国会が召集され、成長分野への投資呼び込みが期待される一方、食品消費税減税関連法案などは財政不安が意識されやすい。米国では11月に中間選挙を控える。個別では10月末に実施されるTOPIX構成銘柄の初回入替で新規採用される銘柄の動きも注目されよう。（9/25 大部）

9月の銘柄・業種別騰落率(8/31-9/24)

◆東証プライム騰落率ランキング ～BEST10～

コード	社名	業種	騰落率
5301	東海カーボン	ガラス土石	25.5
9984	リットルG	情報通信	22.2
6787	メイコー	電気機器	19.8
6920	レザテック	電気機器	18.3
7826	フルヤ金属	その他製品	17.5
5019	出光興産	石油石炭	16.2
2737	トメデバイス	卸売	15.8
6526	リソテクト	電気機器	15.1
3132	マクニカHD	卸売	13.6
4088	IA・ウォーター	化学	12.9

～WORST10～

コード	社名	業種	騰落率
4385	メルカリ	情報通信	-23.3
5706	三井金属	非鉄金属	-21.5
4392	F I G	情報通信	-19.1
3563	FOOD & LIFE	小売	-16.8
7762	シチズン時計	精密機器	-15.9
5713	住友金属鉱山	非鉄金属	-14.2
4151	協和キリン	医薬品	-13.9
8050	セイコーG	精密機器	-13.6
7550	ゼンショーHD	小売	-13.3
6952	カシオ計算機	電気機器	-13.1

(注) 売買代金25日平均上位5分の1を対象。

(出所) Bloomberg より内藤証券作成。

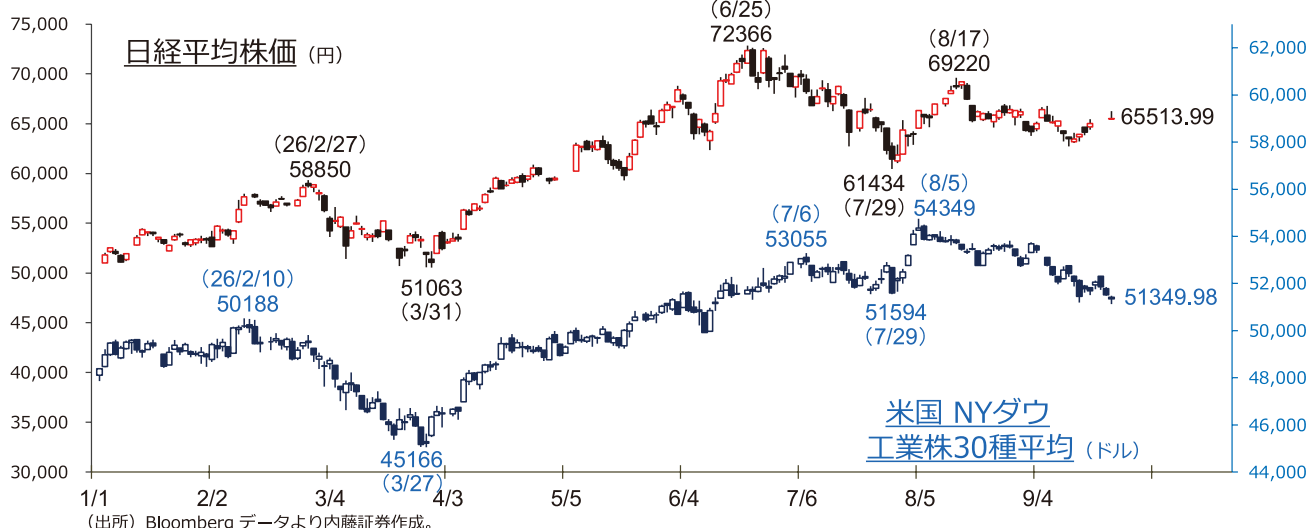
◆業種別騰落率 (%)

業種	騰落率
情報通信	6.0
海運	2.2
鉄鋼	1.0
卸売業	1.0
電力ガス	0.1
建設	-0.0
電機	-1.3
医薬品	-1.7
ガラス土石	-1.8
機械	-1.9
陸運	-1.9
TOPIX	-1.9
化学	-2.3
不動産	-2.7
繊維	-2.9
銀行	-3.1
食料品	-3.6
証券商品	-3.6
自動車	-4.8
小売業	-5.2
精密	-6.6
サービス	-7.6
非鉄	-8.1

◆日経平均株価、NYダウの推移

(日足、26年1月1日～26年9月24日)

※ポイントは日々終値



銘柄
スクリーニング

決算を経て業績期待が高まる銘柄

◇直近1カ月のEPS変化率の上位銘柄

(選択条件)

- ・ TOPIX500採用銘柄。
- ・ 9月18日の今期市場コンセンサスEPSが8月18日の同EPSを上回っている。
- ・ 同期間の騰落率がTOPIXの-1.19%を上回っている。
- ・ 市場コンセンサスEPSの変化率が10%を超える銘柄（四捨五入）。

数値は26年9月18日時点

コード	社名	業種	決算月日	時価総額 (億円)	市場コンセンサス EPS変化率	対TOPIX 相対騰落率
5711	三菱マテリアル	非鉄金属	03月期	6,830	117%	-1%
5301	東海カーボン	ガラス・土石製品	12月期	4,598	65%	15%
3994	マネーフォワード	情報・通信業	11月期	3,287	30%	4%
5105	TOYO TIRE	ゴム製品	12月期	5,862	29%	1%
4005	住友化学	化学	03月期	9,649	24%	9%
2432	ディー・エヌ・エー	情報・通信業	03月期	2,623	20%	3%
6302	住友重機械工業	機械	12月期	7,347	18%	1%
4665	ダスキン	サービス業	03月期	2,271	17%	4%
5021	コスモエネルギーホールディングス	石油・石炭製品	03月期	7,354	15%	5%
5832	ちゅうぎんフィナンシャルグループ	銀行業	03月期	6,748	15%	3%
6326	クボタ	機械	12月期	31,309	15%	4%
4188	三菱ケミカルグループ	化学	03月期	17,139	13%	0.5%
8341	七十七銀行	銀行業	03月期	9,624	13%	7%
6448	ブラザー工業	電気機器	03月期	11,598	12%	1%
7846	パイロットコーポレーション	その他製品	12月期	2,373	12%	9%
4689	LINEヤフー	情報・通信業	03月期	36,965	12%	8%
8439	東京センチュリー	その他金融業	03月期	13,142	11%	5%
7189	西日本フィナンシャルホールディングス	銀行業	03月期	7,267	11%	2%
5020	ENEOSホールディングス	石油・石炭製品	03月期	38,747	10%	9%
8410	セブン銀行	銀行業	03月期	4,040	10%	0.2%
9107	川崎汽船	海運業	03月期	22,352	10%	11%
8473	SBIホールディングス	証券・商品先物取引業	03月期	21,633	10%	6%

(出所) Bloombergより内藤証券作成

(注) マネーフォワードは貸株注意喚起。市場コンセンサスEPS変化率は2026年8月18日時点と9月18日時点と比較。
対TOPIX騰落率差は、同期間の個別株騰落率からTOPIX騰落率引いて算出。

特集

CEATEC2026に見る「次の成長領域」

2026年10月13～16日に開催される

デジタルイノベーションの総合展であるCEATECの今回のテーマは「Transformation(企業が、産業が、そして社会が変わる)」である。4つあるパビリオンのうち、新規性が高いのは海洋と宇宙だ。

展示内容は、①感じる(カメラ、レーダー)→②つなぐ(通信)→③考える(半導体、データ解析)→④動かす(モータ、駆動部品、制御)→⑤社会実装(管理、保険、保守サービス)という5つの観点で整理できるだろう。

【図表1】パビリオンの概要

デジタル交通社会	海洋デジタル社会	宇宙共創	暮らしのDX
自動運転、車と周囲をつなぐ通信、遠隔監視、運行・保険	海洋観測、水中ドローン、海洋データ解析、通信	衛星通信、測位、地球観測、衛星搭載計算・制御	スマートホーム、防災、見守り、家電・設備連携
楽天G(4755) トヨタ(7203) ソフトバンク(9434) SOMPOHD(8630)	富士通(6702)	三菱電機(6503) NEC(6701) 富士通(6702) シャープ(6753)	エディオン(2730) リンナイ(5947) 三菱電機(6503) シャープ(6753) フクダ電子(6960) ホンダ(7267) セコム(9735)
損保ジャパンは、自動運転などの導入をリスク評価・保険・事故対応・運行支援で支える。	上場企業は少数。研究機関・新興企業との共創が中心で、事業化はこれからの領域。	宇宙単独ではなく、自動車・製造・通信・インフラへの技術展開が主眼。	家電単体ではなく、電力・通信・データをつないで暮らし全体をサービス化。

(出所) CEATECのホームページより内藤証券作成

(注) 記載の企業は、パビリオンの出展の主な上場企業。損保ジャパンはSOMPOHDの子会社。ソフトバンクとトヨタ自動車の合併会社であるMONET Technologiesが出展。楽天Gの楽天モバイルが出展。シャープはシャープエネルギーソリューションが出展。

複数市場に同じ技術・部品を展開できる企業に注目

日本企業は、半導体の設計・製品そのものよりも、相対的には装置や部材・材料に強みを持つ企業が多い。株式市場のテーマとなっているデータセンターやロボット関連でも、同様の構図がみられる。

①感じる、②つなぐ、④動かすの市場が拡大すれば、装置メーカーや電子部品メーカーでは業績拡大が期待される。

CEATEC2026で示された構想が実現に向かう世界では、海洋や宇宙、交通・暮らし関連の分野で、電子部品企業が事業拡大する機会は多いとみられる。(高橋)

【図表2】パビリオン横断でみる共通技術

パビリオン	感じる	つなぐ	考える	動かす
交通	カメラ、レーダー	車・道路間通信、移動通信	自動運転、交通最適化	車両制御
海洋	ソナー、環境センサー	衛星・水中通信、機器接続	海洋解析、仮想空間再現	水中ドローン、船舶制御
宇宙	地球観測、測位	衛星通信、光通信	衛星搭載計算、データ解析	アンテナ制御
暮らし	人感・生体センサー	家電・住宅設備、ネット接続	見守り、省エネ	家電・住宅設備制御

(出所) 各種資料より内藤証券作成 (注) 図表2は共通技術に絞って①～④で整理した。

IPO

9月IPO初値は概ね公開価格を上回る

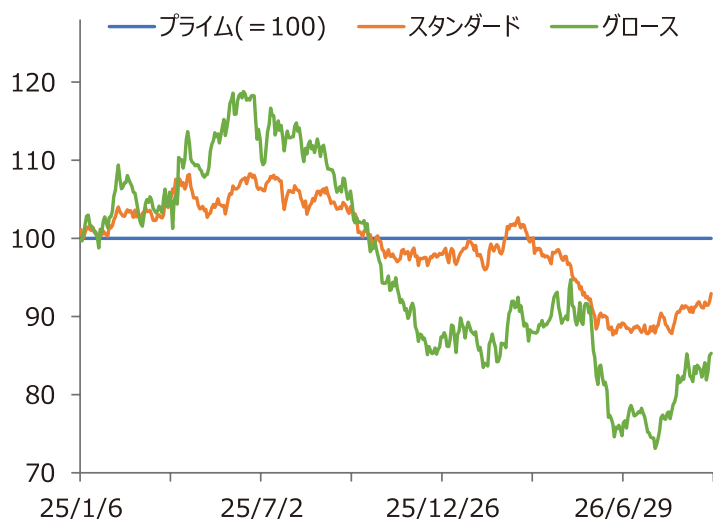
◆直近新規公開銘柄一覧（26年9月24日現在、26年7月1日以降公開分）

(円)

公開日	コード	銘柄	公開市場	公開価格 (決定日)	初値	その後の 高値	その後の 安値	事業内容	主幹事
7/15	598A	チャットプラス	TG	1,080	2,284	2,784	1,282	問い合わせ対応のチャットボットシステム開発・提供	丸三
7/22	593A	ティアフォー	TG	1,085	1,009	3,790	871	自動運転車両の開発・販売、実証・導入支援等	三菱UFJ他
7/29	603A	アイ・グリッド・ソリューションズ	TG	770	953	1,449	670	再エネ自給率を最大化するGXソリューション事業	野村
7/29	604A	ビーエイブル	TS	700	1,016	1,712	872	原子力発電所の建設、保守、廃炉工事	みずほ
8/4	607A	エプリー	TG	230	294	317	210	動画メディア運営、広告ソリューション	SMBC日興
9/11	618A	K O M P E I T O	TG	1,600	1,480	1,928	1,472	オフィス設置型健康食など食の福利厚生サービス	SBI証券
9/16	619A	オリバー	TS	305	310	330	298	企画、施工、家具提供までの総合インテリアソリューション	大和、野村
9/16	621A	オーディオストック	TG	1,060	1,554	1,954	1,316	楽曲・効果音等の音源のライセンス販売サービス	SBI証券
9/17	625A	S k y f a l l	TG	1,500	1,760	1,887	1,513	ユーザーが広告を選択するリワードマーケティングプラットフォーム	SBI証券
9/18	622A	テクノクラフト	TS	650	620	624	550	GPSなどを利用したゴルフ場、保育園向け支援システム	SMBC日興
9/18	623A	ベルテックス	TS	550	607	650	562	不動産のコンサルティング、運用、不動産ファンド事業	東海東京
9/18	624A	かがやきホールディングス	MN	720	1,206	1,400	920	中堅・中小企業向けコンサルティング事業	東海東京
9/18	627A	a k i p p a	TS	570	1,244	1,337	989	駐車場マーケットプレイス「アキッパ」の運営	SBI証券
9/25	634A	レイヤード	TS	1,400	—	—	—	医療機関向け DX 支援プロダクト事業	SBI証券
10/15	648A	ルクレ	TG	10/5	—	—	—	デバイス×AIクラウド型の「記録 DX プラットフォーム」提供	野村、SBI

(注) TPは東証プライム、TSは同スタンダード、TGは同グロース、MMIは名証メイン、MNは同ネクスト。プロマーケット、Jリート除く。

(出所) Bloombergデータ、各社HPより内藤証券作成。

◆東証市場別指数の推移（相対力、プライム指数＝100）
(24/12/30＝100)

(出所) Bloombergより内藤証券作成

◆過去3カ月間「上昇率上位」（公開後2年以内）
(26/6/30→26/9/24)

(%)

コード	社名	業種	市場	騰落率
278A	テラドローン	精密機器	TG	159.1
593A	ティアフォー	情報・通信	TG	110.1
446A	ノースサンド	サービス	TG	89.1
336A	ダイナミックマ	情報・通信	TG	67.3
479A	PRONI	情報・通信	TG	61.0
338A	Zenmu Tech	情報・通信	TG	58.7
296A	令和 A H	サービス	TG	56.7
431A	ユーソナー	情報・通信	TG	52.3
581A	G O	情報・通信	TG	50.9
460A	BRANU	情報・通信	TG	47.1

(注) 経営統合、持株会社化による上場、東証プロマーケットを除く。
但し、東証プロマーケットから他市場に上場した場合を含む。
3カ月前の月末より後の新規上場銘柄は初値からの上昇率。

(出所) Bloomberg データより内藤証券作成。

10月の
スケジュール

物価動向と日米中銀の金融政策に注目

日付	曜日	国 内		対象期	海 外		対象期
		時間	指標・イベント名称		時間	地域 指標・イベント名称	
1	木	8:50	日銀短観 日銀金融政策決定会合主な意見（9月17-18日分）	7-9月	23:00	米国 ISM製造業景気指数 中国・香港 国慶節（本土は7日まで連休）	9月
2	金	8:30	完全失業率・有効求人倍率	8月	18:00	ユーロ圏 消費者物価指数（速報値）	9月
		8:30	都区部消費者物価指数（CPI）	9月	21:30	米国 雇用統計	9月
		8:50	マネタリーベース	9月		インド マハトマ・ガンジー生誕日	
5	月				23:00	米国 ISM非製造業景気指数	9月
6	火				21:30	米国 貿易収支	8月
7	水	14:00	景気動向指数（速報）	8月			
8	木	8:50	経常収支	8月	3:00	米国 FOMC議事録（9月15-16日分）	
		14:00	景気ウォッチャー調査	9月			
9	金	15:00	工作機械受注	9月			
12	月		スポーツの日			米国 コロンブス・デー（債券休場） タイ IMF・世界銀行年次総会（～18日）	
13	火	8:50	企業物価指数	9月	23:00	米国 中古住宅販売件数	9月
14	水				10:30	中国 消費者物価指数・生産者物価指数	9月
					21:30	米国 消費者物価指数（CPI）	9月
						中国 貿易収支	9月
15	木	8:50	機械受注統計	8月	3:00	米国 地区連銀経済報告	
					21:30	米国 生産者物価指数（PPI）	9月
					21:30	米国 小売売上高	9月
					23:00	米国 企業在庫・売上高	8月
						タイ G20財務相・中央銀行総裁会議	
16	金				22:15	米国 鉱工業生産指数	9月
19	月				11:00	中国 固定資産投資	1-9月
					11:00	中国 工業生産	9月
					11:00	中国 小売売上高	9月
					11:00	中国 GDP	7-9月
					23:00	米国 NAHB住宅市場指数	10月
						香港 重陽節振替休日	
20	火				10:00	中国 LPR（貸出市場報告金利）	
					21:30	米国 住宅着工件数	9月
						インド ヒンドゥー教ダシエラ	
21	水	8:50	貿易収支（速報値）	9月			
22	木						
23	金	8:30	全国消費者物価指数（CPI）	9月			
26	月					中国 中国共産党五中全会（～29日）	
27	火				21:30	米国 耐久財受注（速報値）	9月
					23:00	米国 新築住宅販売件数	9月
28	水						
29	木		日銀金融政策決定会合（～30日）		3:00	米国 FOMC結果発表	
					21:30	米国 GDP（速報値）	7-9月
					21:30	米国 個人消費支出・個人所得	9月
					22:15	ユーロ圏 ECB理事会結果発表	
30	金	8:30	都区部消費者物価指数（CPI）	10月	19:00	ユーロ圏 GDP（速報値）	7-9月
		8:30	完全失業率・有効求人倍率	9月			
		8:50	鉱工業生産指数（速報値）	9月			
			日銀総裁定例記者会見				
31	土				10:30	中国 国家統計局製造業・非製造業PMI	10月

（注）赤字は注目標、緑字は中国関連指標、青字は休場、時間は日本時間。欧州は10月25日から冬時間。